

I. 事業活動の概要に関する事項

1. 犬及び猫の不妊及び去勢手術の推進事業【定款第4条第1号、第2号、第3号及び第4号】

2023年度は下記の皆様と協働して53,093頭の猫、76頭の犬の無料不妊手術を行いました。

- 2023年度 協力病院 194件
- 2023年度 登録行政 491件
- 2023年度 登録ボランティア（一般個人） 9747人
- 2023年度 登録ボランティア（団体） 63団体

■ 猫の不妊及び去勢手術の推進事業

53,093頭の猫の無料不妊手術を行い、手術済みのしるしとして「みみ先カット」を施しました。

※どうぶつ基金で2005年から累計337,945頭のさくらねこ無料不妊手術をおこなってきた結果、行政による猫の殺処分数は22万頭（2005年度）から9,472頭（2022年度）（環境省調べ）まで減少しました。

- (1) どうぶつ基金と三重県動物愛護センターが協働するさくらねこ無料不妊手術協働事業で、どうぶつ基金顧問の山口獣医による技術指導及び3種混合ワクチン109頭分の提供をおこない行政獣医の技術力向上と猫問題の解決に貢献しました。
※三重県での無料不妊手術頭数の累計（2017-2023）は3038頭になりました。
- (2) 宮崎県と協働する「TNR先行型地域猫プロジェクト」で使用する捕獲機百台、宮崎県動物愛護センターで行う飼い主のいない猫の無料不妊手術に使用する3種混合ワクチンとノミダニ駆除薬1200頭分を提供し猫問題の解決に貢献しました。
- (3) 全国の自治体にTNRに使用するための捕獲機の希望を募り、113自治体から合計603台の寄贈をすることになり、捕獲機の寄贈を開始しました。2023年度末時点で39の自治体に合計150台の捕獲機を寄贈しました。次年度も引き続き希望した全ての自治体に603台の寄贈を予定しています。

猫の多頭飼育崩壊救済のための無料不妊手術は全国82件の行政からの申請を受け1593頭の不妊手術およびワクチン、ノミ駆除薬投与を無料で行いました。

※ 多頭飼育崩壊に関する救済要請に対応するために専用フォームを設置して対応しました。

多頭飼育救済専用相談フォームからのご相談 98件

※ 猫の不妊及び去勢手術の推進事業の活動に対して奈良県五條市 和歌山県橋本市、宮崎市の3市から感謝状を拝受しました。

■ 犬の不妊及び去勢手術の推進事業

76頭の犬の無料不妊手術を行いました

北海道佐呂間町と協働して、多頭飼育崩壊救済のための出張手術を行い76頭の犬の不妊手術およびノミ駆除薬投与を無料で行いました。

※犬の不妊及び去勢手術の推進事業の活動に対して北海道佐呂間町から感謝状を拝受しました。

出張手術は以下の通りとなりました。

- 猫 1件 三重県 109頭
- 犬 1件 北海道佐呂間町（多頭飼育） 76頭

2. 動物愛護思想の普及啓発等 【定款第4条第1号から第5号】

■ 行政による犬猫の団体等譲渡事業推進のための助成金制度

全国各地の保健所等で行われている犬や猫の団体等譲渡制度を推進するために、団体等譲渡制度に登録し、行政から収容動物を引き取り、新しい飼い主に再譲渡している団体または個人活動家の方の支援を行いました。2023年度は38の団体・個人から申請があり、1,451頭に対し、1頭あたり7,000円の助成を行い、行政による犬猫の殺処分数減少に貢献しました。

助成金額：1,451頭×7,000円＝10,157,000円

■ 協働ボランティアによる里親探し

1439組の協働ボランティア（団体・個人）が21807頭の猫（事情により元居た場所に戻せない猫）を保護、里親探しを行い、行政による犬猫の殺処分数減少に貢献しました。

■ いのちつないだワンニャン写真・動画コンテスト2023を開催しました

- 応募結果 作品応募数 2,355点
- 審査 厳正な審査の結果、入賞4作品および入選26作品が選ばれた。
審査日 2023年9月6日
審査委員長 森田恭通
審査員 来秀則（らいひでのり、八二一）、藤原なつみ（八二一、はっちゃん日記）、JUNICHI（アーティスト）、Pepe Shimada（画家）、佐上邦久（どうぶつ基金理事長）
- 展示 「いのちつないだワンニャン写真・動画コンテスト2023受賞作品展」
会場：大阪 本町ガーデンシティ 1F（大阪府中央区本町3-6-4）
会場提供：積水ハウス株式会社
会期：2023年10月12日～14日
時間：10am～7pm
入場者総数 約3,000人
○どうぶつ基金 HP 上にて常時展示

（<https://contest.doubutukikin.or.jp/2023/result.html>）

- コンテスト HP 内に里親探しのマッチングができる機能を設置し、殺処分減少に寄与しました。
- 作品発表展で使用するために制作した作品は、全国 9 カ所のイベントに貸し出して有効活用しました。

■ さくらねこ短歌コンテストを開催しました

- 応募結果 作品応募数 1,654 首
- 審査
厳正な審査の結果、大賞 1 作品、審査員賞 4 作品、優秀賞 10 作品が選ばれ、受賞作品をコンテストページ内で公表しました。

(https://www.doubutukikin.or.jp/sakuranekotankacontest_2023/)

審査日 2024 年 3 月 21 日

審査員 山崎好裕（福岡大学教授）、マエキタミヤコ（環境広告株式会社サステナ代表）、佐藤修史（フリー記者）、佐上邦久（どうぶつ基金理事長）

■ ご相談への対応

HP 上に FAQ ページを設置しました。

HP お問合せフォームからのご相談や質問に対応しました。

お問合せフォームからのお問合せ数 2,367 件

多頭飼育崩壊に関する救済要請に対応するために専用フォームを設置して対応しました。

多頭飼育救済専用相談フォームからのご相談 98 件

■ 署名活動、要望書提出

● 署名活動

オンライン署名サイト「Change.org（チェンジ・ドット・オーグ）」で以下のオンライン署名を実施しました。

- (1) 沖縄県条例（案）から「ノラ猫への餌やり禁止条項」を削除してください

<https://www.change.org/OkinawaNeko>

署名数 38,080 筆

- (2) 猫や犬の殺害犯罪をなくすためノネコ、ノイヌを狩猟鳥獣から削除してください

<https://www.change.org/SaveNoneko>

- (3) 大阪市の街ねこ事業（地域猫活動）の条件である自治会長の「合意書への署名」というハードルを無くしてください

<https://www.change.org/osakasakuranecko>

署名数 47,829 筆

- (4) 殺処分ゼロのために福岡県動物愛護センターでノラ猫 8,000 匹の無料不妊手術をしてください

<https://chnge.it/LgWPDyb56x>

署名数 41,374 筆

● 要望書、質問状提出

(1) 福岡県

- ・ 2013年4月13日、19日
福岡県知事と県議会議長あてに「野良猫の避妊・去勢手術の実施に関する要望」を再提出。要望書を再提出。福岡県知事に公開質問状を提出。
- ・ 2023年9月1日
上記の公開質問状に対する回答について、福岡県知事に再度の公開質問状と意見書を提出。

(2) 大阪府

- ・ 2023年11月1日
大阪市長あてに大阪市「所有者不明猫適正管理推進事業」実施細目の改定に関する要望書を提出。

(3) 沖縄県

- ・ 2024年1月23日
沖縄県知事と県議会議長あてに「沖縄県動物の愛護及び管理に関する条例（案）」から第13条の削除を求める要望書とオンライン署名25,750筆、自筆署名2,730筆（うち58筆は他の都道府県在住者によるもの）を提出。

(4) 環境省

- ・ 環境大臣宛に「鳥獣保護管理法の狩猟鳥獣から「ノネコ」「ノイヌ」の削除を求める要望書」と署名47,284筆を提出。

■ 啓発資料の配布

TNR活動、遺棄虐待防止等を啓発する資料、ポスター等を配布しました。

資料請求件数 308件 18種類 17,506部の資料、啓発ポスターを配布しました。

2022年度の活動報告書を制作し配布しました。

■ ちきゅう部の活動

- ① 官民連携による地方創生・SDGsの達成を目指すために、内閣府「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」に参画しました。
- ② 2021年に発足したちきゅう部で【奄美大島における生態系保全のためのノネコ管理計画】の有効性に対する研究分析を行い、奄美大島におけるアマミノクロウサギの推定生息数とノネコの捕獲数（いずれも環境省発表データ）から「野生化したノネコの捕獲」と「アマミノクロウサギの指定生息数の増減」との関係性は認められないという結果の発表とプレスリリース、【奄美大島における生態系保全のためのノネコ管理計画】は即刻中止すべきというロビイング活動および署名活動を行いました。

【分析結果発表と政策提言】

- ・ 犬猫の殺処分ゼロをめざす動物愛護議員連盟 第1回 ノイヌ・ノネコPT 実施日 令和5年9月13日 場所 参議院議員会館（東京都千代田区）
- ・ 犬猫の殺処分ゼロをめざす動物愛護議員連盟第2回 ノイヌ・ノネコPT 実施日 令和5年10月18日 場所 参議院議員会館（東京都千代田区）

- ・ 犬猫の殺処分ゼロをめざす動物愛護議員連盟第3回 ノイヌ・ノネコPT 実施日 令和6年2月16日 場所 衆議院第二議員会館（東京都千代田区）

【署名】

世界遺産を口実に、奄美や沖縄の猫を安易に殺処分しないでください！

署名数 106,118 筆

■ メディア掲載

どうぶつ基金の活動が各メディアで紹介されました。

- ・ 新聞掲載 4回 北海道新聞、毎日新聞等
- ・ テレビ 11回 北海道ニュース UHB、HBC ニュース北海道放送、HTB 北海道ニュース等
- ・ WEB ニュース 481回 FNN プライムオンライン、朝日新聞デジタル、北海道新聞デジタル等
- ・ プレスリリース PR TIMES 18回

3. 動物愛護関連商品の販売事業 【定款第4条第4号及び第6号】

動物愛護、SDGs 関連商品の企画、製作及び販売を通して、動物愛護思想の普及啓発を図ると共に、当法人の活動資金を得るための販売事業を実施しました。

本年度の動物愛護、SDGs 啓発関連商品の販売実績

- ◆ オーガニックコットンTシャツ、カレンダー（再生紙）、オーガニックコットンエコバッグ、等を製作し、約524万円を売り上げました。
*環境に配慮した商品に変更を進めています。

II. 運営組織の状況に関する事項

1. 理事会 【定款第7章】

日時	理事の現在数 監事の現在数	議決権を行使 した理事数	議決の結果等
令和5年 5月31 日	3名 1名	3名	1. 令和4年度事業報告及び計算書類承認 可決 2. 定時評議会招集決定可決
令和5年 6月15 日	3名 1名	3名	1. 理事長(代表理事)選定
令和6年 3月17 日	3名 1名	3名	1. 令和6年度事業計画承認可決 2. 令和6年度収支予算案承認可決 3. 評議員会招集決定可決

2. 評議員会【定款第5章】

日時	評議員現在数	議決権を行使した評議員数	議決の結果等
令和5年 6月15 日	3名	3名	1. 令和4年度事業報告及び計算書類承認 可決
令和6年 3月25 日	3名	3名	1. 令和6年度事業計画承認可決 2. 令和6年度収支予算案承認可決

3. 役員の異動状況

現職理事：0名

現職監事：0名

附 属 明 細 書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益財団法人どうぶつ基金